

THREEUP

# THREEUP

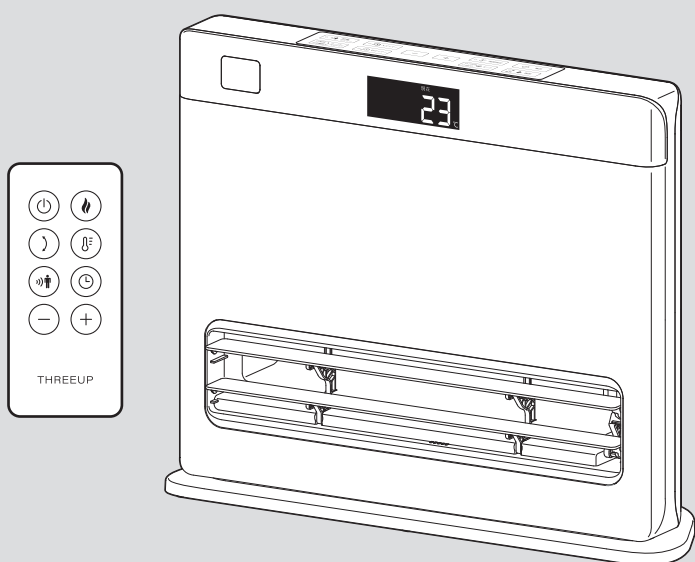
オートルーバー付  
大風量\*パネルセラミックヒーター  
節電センサー搭載

## グランヒート

### CH-T2383

※「大風量」は当社従来品との比較です。

# 取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

## 目次

### はじめに

安全上のご注意	1~3
各部のなまえ	4~5
パッケージ内容	5
別売品	5
仕様	5

### ご使用前に

設置について	6
リモコンについて	7

### ご使用方法

運転する(連続運転)	8
停止する	8
ヒーターの強さを切り替える	9
「パワフル」モードと「eco」モードを使う	10
温度設定する	11
ルーバースイング運転する	12
オフタイマーを設定する	13
オンタイマーを設定する	14
オフタイマーとオンタイマーを同時に設定する	15
節電センサーモード(自動運転)	16

### 点検・修理



お手入れと保管方法	17~18
コンセントの点検	19
故障かな?と思ったら	20~21
保証・サービス	22

# はじめに







## 安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。  
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 <b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

## 警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。  
火災、感電、ケガの原因になります。  
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。  
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。  
漏電、感電、火災、故障の原因になります。

お子様だけで使わせしないでください。  
感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。  
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。  
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。



禁止

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。  
本体の変形によるショートや発火の原因になります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガンリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。  
また、本体に向けて吹きかけしないでください。  
爆発や火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。  
感電のおそれがあります。



禁止

本体のすき間にピンや針金などの異物を入れないでください。  
感電や故障の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。  
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。

暖房運転のご使用时、過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

長時間、身体と同じ場所を温め続けしないでください。

やけどや低温やけどの原因になります。  
特に皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて運転しないでください。  
火災ややけどの原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。

ボタン電池を誤飲する原因になります。  
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れて、水に濡らしたりしないでください。

また、分解や加熱をしないでください。  
破裂や発熱の原因になります。

温風吹出口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。

衣類やカーテンなどで温風吹出口や吸気口がふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

## 警告

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-1500W)を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちたり、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードや電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。設置距離について、P.6「設置について」を必ずご確認ください。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

運転中と運転停止直後は、温風吹出口に触れないでください。

高温になっているため、やけどのおそれがあります。



必ず守る



必ず守る



接触禁止

## 注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。故障の原因になります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたり、寄りかかったりしないでください。転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。

本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、事故や故障の原因になります。



禁止



禁止

## 注意

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

- 落下、転倒などにより、ケガや事故、故障の原因になります。
- 安定した水平な場所に置かれていないと転倒時自動オフスイッチが動き、運転が停止します。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

犬や猫などのペット用には使わないでください。ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障の原因になります。

衣類の真下に設置しないでください。衣類が落下すると、吸い込みによる故障の原因となります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- 電極 (+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

ルーバーを手で動かしたり、動作中やルーバーが閉じるときにルーバーの動きを止めたりしないでください。故障やケガの原因になります。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

- 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
- 節電センサーが汚れていると、作動しなかったり誤作動したりする場合があります。

節電センサー部周囲の環境に注意して設置してください。

設置環境について、P.16「節電センサーモード(自動運転)」をご確認ください。

ボタン電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。



必ず守る



禁止



接触禁止

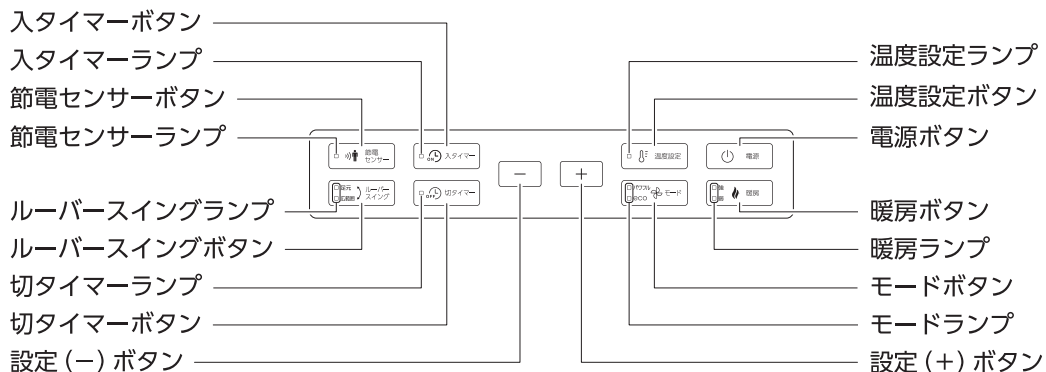
温風吹出口や吸気口の内部に指を入れないでください。

ケガの原因になります。

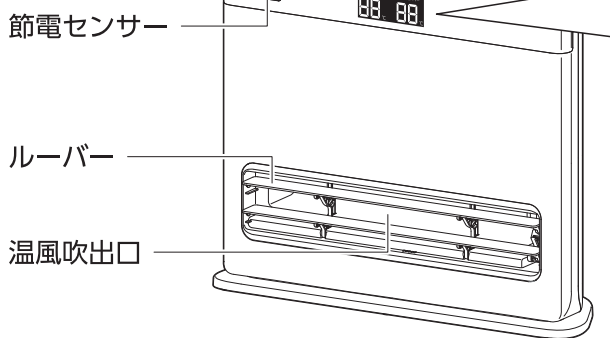
# 各部のなまえ

## ■ 本体

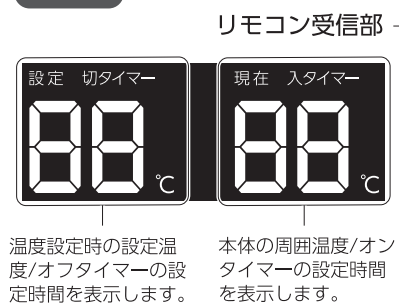
### 操作部



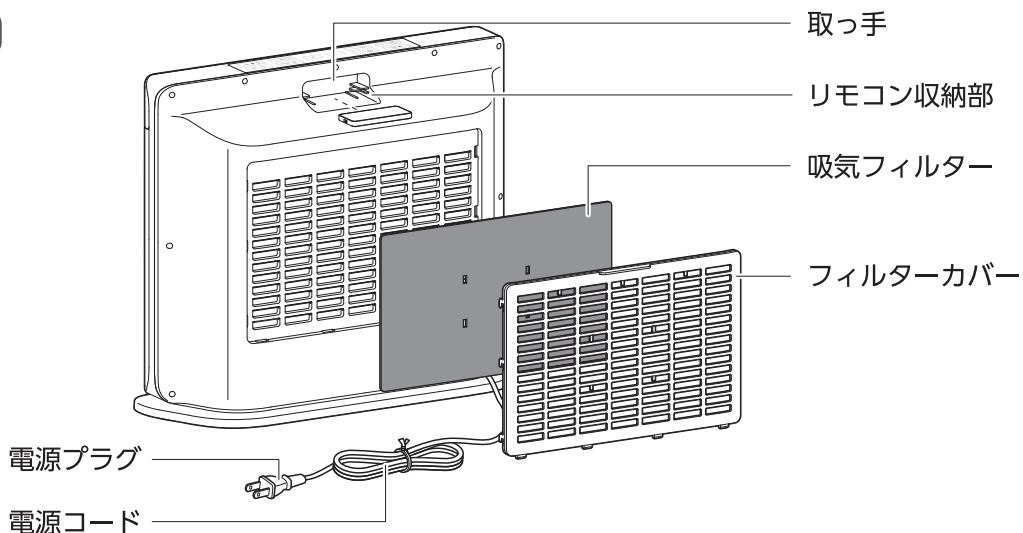
### 正面



### 表示部



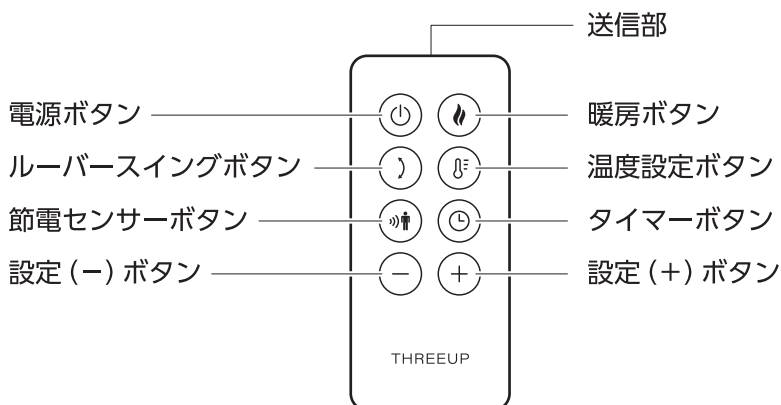
### 背面



# はじめに

## ■ 付属品

- リモコン



## パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
リモコン（CR2032電池内蔵）	1	—	—

## 別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	商品単価（税込）
吸気フィルター	1	880 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

## 仕様

本体サイズ	幅52×奥行17×高さ43cm	本体重量	約4.3 kg
材質	ABS、PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	パワフル/1200W、 強/1100W、弱/600W	運転モード	ヒーター 3段階切替(パワフル/強/弱)、 ecoモード、節電センサー(自動運転)、 温度設定(18～30℃)
ルーバースイング	足元(下方向に30°)、広範囲(60°)	オン・オフタイマー設定	1～9時間(1時間単位)
自動オフタイマー	10時間	節電センサー感知範囲	上下60°、左右60°(約1.5m)
機能	オン・オフタイマー同時設定、 減灯機能、メモリー機能	安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、 転倒時自動オフスイッチ
1時間あたりの電気代	約37.2円 (パワフル暖房/1200W連続運転時)	コード長	約1.5 m

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh(税込)で計算した際の目安となります。

# ご使用の前に

## 設置について

### ■ 設置条件

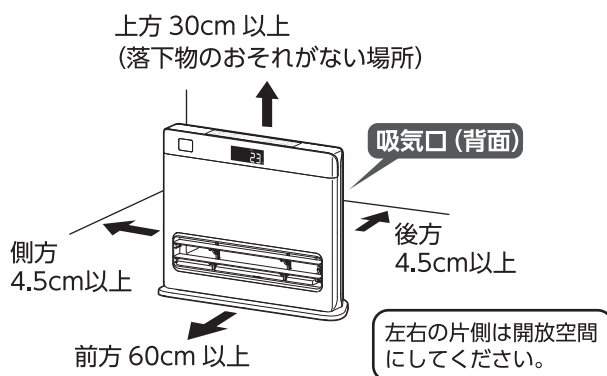
## 警告



必ず守る

下図の設置距離を必ずお守りください。

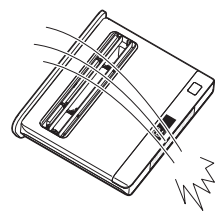
- 左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
- カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 本体背面の吸気口が壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。



### ■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりしたときに自動で運転を停止します。

- 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用になる場合は、水平な床面にもう一度設置し、ルーバーが自動で閉じたあとに、『電源』ボタンを押してください。
- 本体を動かしたときにカラカラと音がすることがありますが、これは転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。



### ■ 安全装置

温度が上昇しすぎると本体内部のサーモスタットが感知し、自動的に運転が停止します。

少し時間をおいて温度が下がれば、『電源』ボタンを押すことで運転を再開できます。異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

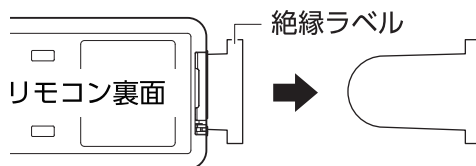


# ご使用の前に

## リモコンについて

工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。  
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

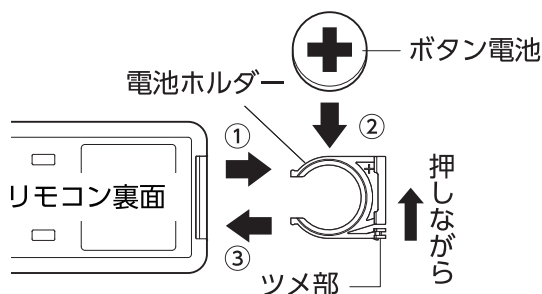
※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、  
早く消耗する場合があります。



## ■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2032」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、  
矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着  
します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまで  
はめ込みます。

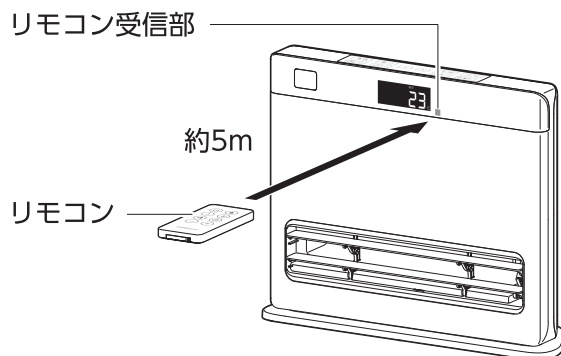


## ■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部  
に向けて使用してください。操作距離は直線で  
約5mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、  
まれに本体が反応して動作することがあります。  
これは本製品と同じ周波数を利用している機器で  
起きる現象です。

そのような場合は本体に影響しない場所でご使用  
ください。



# ご使用方法

## 運転する(連続運転)

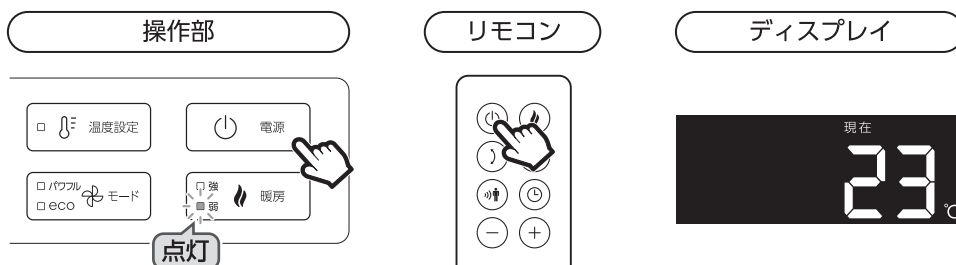
初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分の臭いがすることや、まれに少量の煙が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

### ■ 運転のはじめかた

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。“ピッピツ”と電子音が鳴り、待機状態となります。  
製品の内部よりモーター音が鳴りますが、異常や故障ではありません。



- ② 本体またはリモコンの『電源』ボタンを押します。  
『暖房』ランプ「弱」が点灯してディスプレイに本体の周囲温度が表示され、ルーバーが開いて運転を開始します。
  - ・本体またはリモコンのボタンを押したときは、“ピッ”と電子音が鳴ります。
  - ・初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは「弱」で運転を開始します。



#### 減灯機能について

ディスプレイ表示は操作しない状態が1分間続くと減灯します。

#### 周囲温度について

周囲温度は本体に内蔵されているセンサーが感知する温度になります。

## 停止する

### ■ 運転の止めかた

運転中に本体またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、“ピーッ”と電子音が鳴ってディスプレイの表示と全てのランプが消灯します。

内部冷却のため約30秒間送風運転を行ったあと、自動でルーバーが閉じて運転が停止します。

#### メモリー機能

- ・一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定は除く)
- ・電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

#### 自動オフタイマー機能

電源の消し忘れを防止するため、最後の操作から10時間後に自動停止します。(節電センサーとオフタイマーの設定中は除く)

## ⚠ 注意



- ・長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押し、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

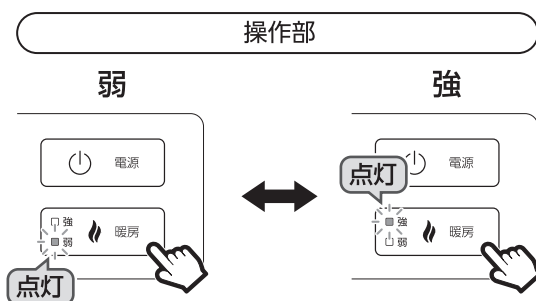
## ヒーターの強さを切り替える

### ■ ヒーターの強さの切り替えかた

#### ◎ 本体操作の場合

運転中に本体の『暖房』ボタンを押します。

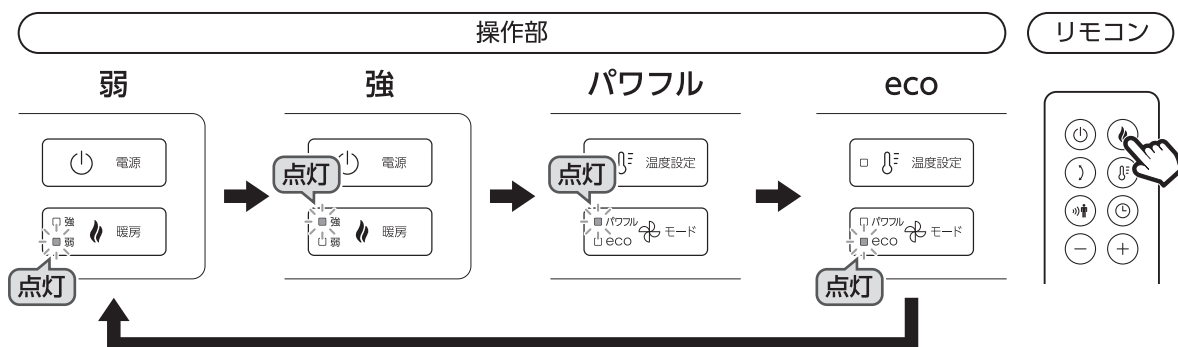
『暖房』ボタンを押すたびにヒーターの「弱」と「強」が切り替わり、設定にあわせて点灯する『暖房』ランプも切り替わります。



#### ◎ リモコン操作の場合

運転中にリモコンの『暖房』ボタンを押します。

『暖房』ボタンを押すたびにヒーター「弱」、ヒーター「強」、「パワフル」モード、「eco」モードの順で切り替わり、設定にあわせて点灯する『暖房』ランプと『モード』ランプも切り替わります。



#### メモ

- ・「弱」と「強」の切り替えは発熱量を切り替えるもので、温風の風量は変わりません。
- ・「パワフル」モードと「eco」モードの詳細は、次ページをご確認ください。

# 「パワフル」モードと「eco」モードを使う

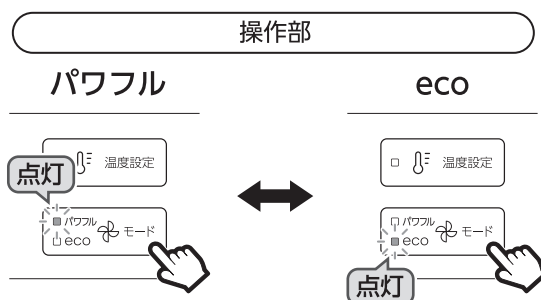
## ■ 「パワフル」モードと「eco」モードについて

- パワフル … 暖房運転の風量と発熱量を強くします。
- eco …… 本体の周囲温度が18℃以下の場合「強」で運転し、18℃を超えると「弱」の運転に自動で切り替わります。  
周囲温度が22℃以上になると自動で運転を停止し、ルーバーが開いたまま待機状態となります。周囲温度が下がると自動で運転を再開します。

## ■ 「パワフル」モードと「eco」モードの切り替えかた

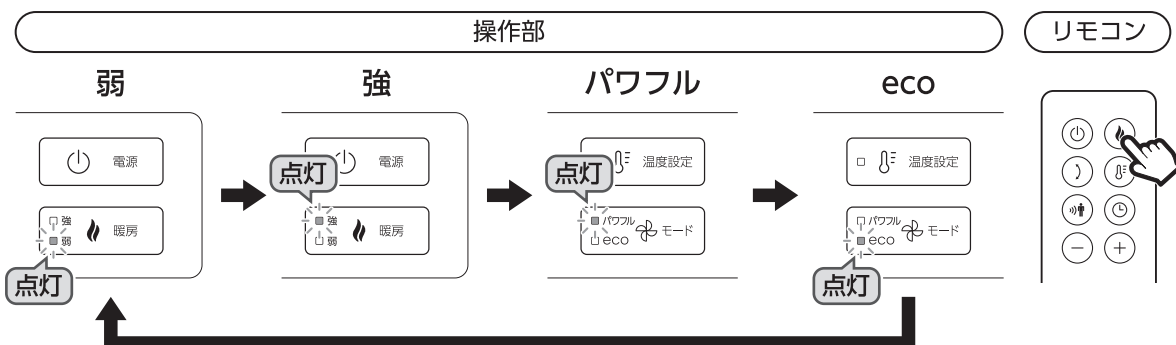
### ◎本体操作の場合

運転中に本体の『モード』ボタンを押します。  
『モード』ボタンを押すたびに「パワフル」モードと「eco」モードが切り替わり、設定にあわせて点灯する『モード』ランプも切り替わります。



### ◎リモコン操作の場合

運転中にリモコンの『暖房』ボタンを押します。  
『暖房』ボタンを押すたびにヒーター「弱」、ヒーター「強」、「パワフル」モード、「eco」モードの順で切り替わり、設定にあわせて点灯する『暖房』ランプと『モード』ランプも切り替わります。



## ■ 「パワフル」モードと「eco」モードの解除のしかた

### ◎本体操作の場合

本体の『暖房』ボタンを押します。  
『モード』ランプが消灯して、「パワフル」モードまたは「eco」モードが解除されます。

### ◎リモコン操作の場合

『モード』ランプが消灯するまでリモコンの『暖房』ボタンを繰り返し押します。

# ご使用方法

## 温度設定する

### ■ 温度設定について

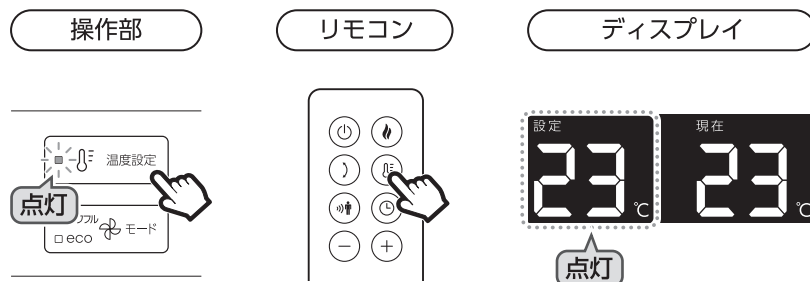
- 温度設定中は、本体の周囲温度にあわせて自動で運転と停止を行います。
  - 本体の周囲温度が設定温度未満の場合は、設定した動作（「弱」/「強」/「パワフル」モードのいずれか）で運転をします。
  - 本体の周囲温度が設定温度以上の場合は、ルーバーが開いた状態のまま運転を停止します。  
例：温度設定24℃ 周囲温度24℃以上 ⇒ 停止  
周囲温度24℃未満 ⇒ 運転

※周囲温度は本体に内蔵されているセンサーが感知する温度になります。

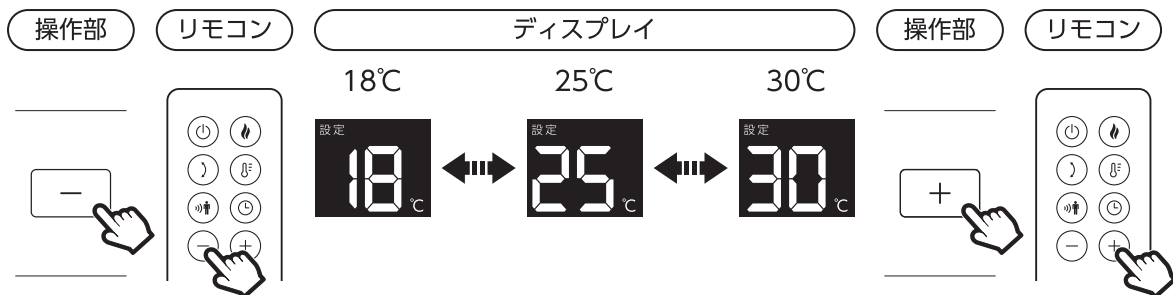
- 設定可能な温度は18℃～30℃です。
- 温度設定中は、「弱」と「強」の切り替えと「パワフル」モードの設定はできますが、「eco」モードの設定はできません。  
※「eco」モードに切り替えると自動で温度設定は解除されます。

### ■ 温度設定のしかた

- ① 運転中に本体またはリモコンの『温度設定』ボタンを押します。  
『温度設定』ランプが点灯し、ディスプレイに設定温度が表示されます。



- ② 本体またはリモコンの『設定 (+)』ボタンと『設定 (-)』ボタンを押して温度を設定します。  
『設定 (+)』ボタンを押すたびに1℃単位で温度が高くなり、『設定 (-)』ボタンを押すたびに1℃単位で温度が低くなります。



### ■ 温度設定の解除のしかた

- 本体またはリモコンの『温度設定』ボタンを押します。  
『温度設定』ランプとディスプレイの設定温度が消灯して、温度設定が解除されます。



# ご使用方法

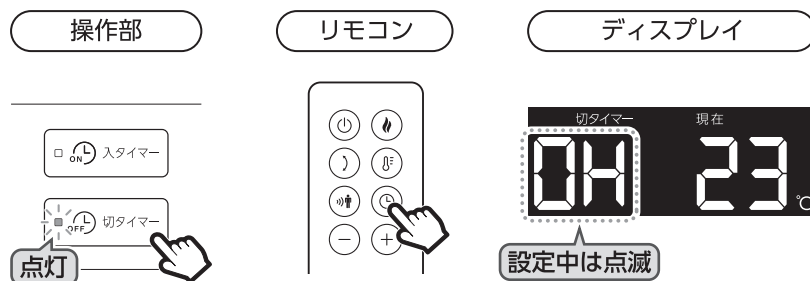
## オフタイマーを設定する

### ■ オフタイマーについて

1～9時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

### ■ オフタイマーの設定のしかた

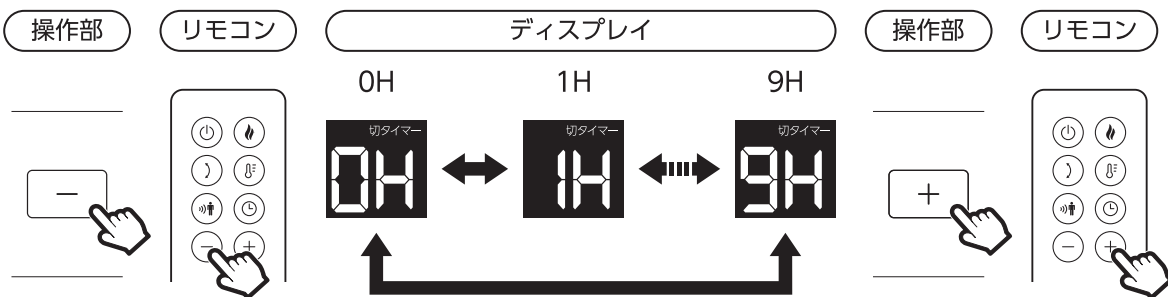
- ① 運転中に本体の『切タイマー』ボタンまたはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。『切タイマー』ランプが点灯して、ディスプレイに設定時間が点滅表示されます。



- ② ディスプレイの点滅中に、本体またはリモコンの『設定 (+)』ボタンと『設定 (-)』ボタンを押して時間を設定します。『設定 (+)』ボタンを押すたびに1時間単位で時間が増え、『設定 (-)』ボタンを押すたびに1時間単位で時間が減ります。

設定時間の点滅時間は約5秒間です。

点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた時間で設定されます。



- メモ**
- ・『設定 (+)』ボタンを押し続けると、1H→2H→3H…→9H→0H→1H…の順に切り替わります。
  - ・『設定 (-)』ボタンを押し続けると、9H→8H→7H…→1H→0H→9H…の順に切り替わります。

- ③ 時間を設定したあと、設定時間の表示が点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。

- ・オフタイマーの設定中は『切タイマー』ランプが点灯し、ディスプレイに設定時間が表示されます。
- ・オフタイマー設定後は、1時間ごとに残り時間が表示されます。

### ◎温度設定をした場合

温度設定とオフタイマーを設定した場合は、ディスプレイには設定温度が表示され、オフタイマーの残り時間は表示されません。

残り時間を確認したい場合は、本体の『切タイマー』ボタンまたはリモコンの『タイマー』ボタンを押すと点滅表示されます。

ディスプレイ



### ■ オフタイマーの解除のしかた

本体の『切タイマー』ボタンまたはリモコンの『タイマー』ボタンを押して設定時間を点滅表示させ、「0H」になるまで『設定 (+)』ボタンまたは『設定 (-)』ボタンを繰り返し押します。時間設定の表示と『切タイマー』ランプが消灯して、オフタイマーが解除されます。

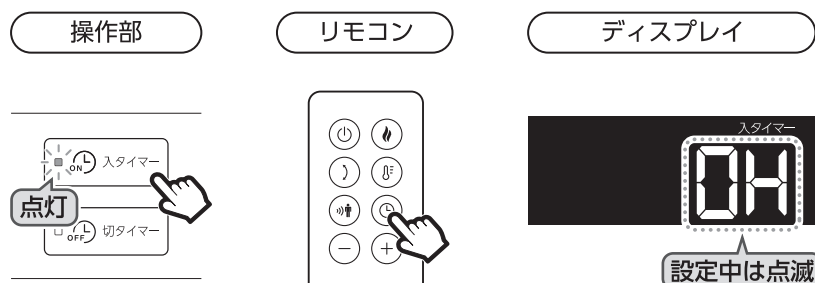
# オンタイマーを設定する

## ■ オンタイマーについて

1～9時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

## ■ オンタイマーの設定のしかた

- ① 待機中に、本体の『入タイマー』ボタンまたはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。『入タイマー』ランプが点灯して、ディスプレイに設定時間が点滅表示されます。

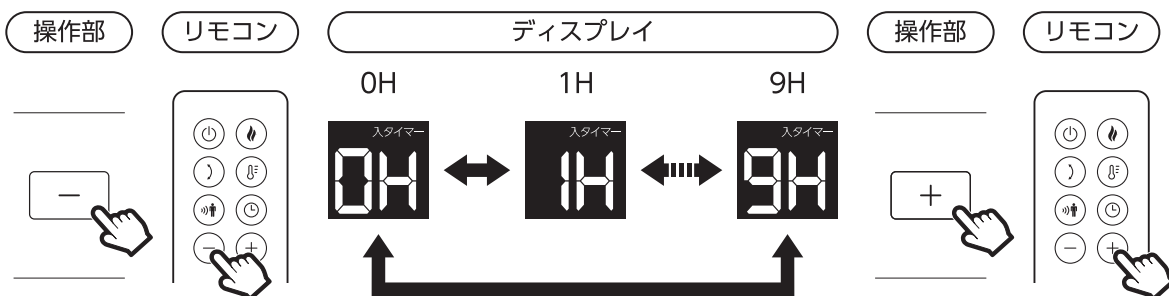


- ② ディスプレイの点滅中に、本体またはリモコンの『設定 (+)』ボタンと『設定 (-)』ボタンを押して時間を設定します。

『設定 (+)』ボタンを押すたびに1時間単位で時間が増え、『設定 (-)』ボタンを押すたびに1時間単位で時間が減ります。

設定時間の点滅時間は約5秒間です。

点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた時間で設定されます。



### メモ

- ・『設定 (+)』ボタンを押し続けると、1H→2H→3H…→9H→0H→1H…の順に切り替わります。
- ・『設定 (-)』ボタンを押し続けると、9H→8H→7H…→1H→0H→9H…の順に切り替わります。

- ③ 時間を設定したあと、設定時間の表示が点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。

オンタイマーの設定中は、運転開始までディスプレイに残り時間が表示されます。

- ④ 設定した時間が経過すると、記憶された運転モードで運転を開始します。

## ■ オンタイマーの解除のしかた

本体の『入タイマー』ボタンまたはリモコンの『タイマー』ボタンを押して設定時間を点滅表示させ、「0H」になるまで『設定 (+)』ボタンまたは『設定 (-)』ボタンを繰り返し押すか、『電源』ボタンを押します。

オンタイマーの設定完了後に『電源』ボタンを押すと、オンタイマーの設定はリセットされ、運転を開始します。

## ■ 運転開始時の動作設定と変更のしかた

『電源』ボタン以外のボタンを押すと、動作設定を変更することができます。

設定した動作のランプが約5秒後に消灯すると設定完了となります。



## オフタイマーとオンタイマーを同時に設定する

### ■ オフタイマーとオンタイマー同時設定について

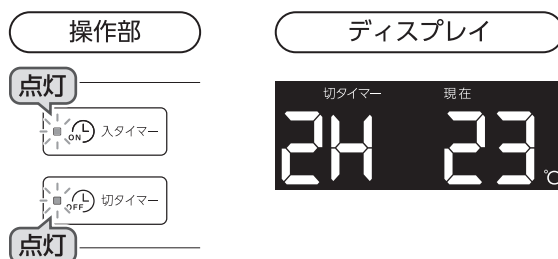
オフタイマーで運転停止したあと、オンタイマーの設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

### ■ オフタイマーとオンタイマーの同時設定のしかた

- ① 運転中に本体の『切タイマー』ボタンまたはリモコンの『タイマー』ボタンを押して、オフタイマーを設定します。  
P.13「オフタイマーの設定のしかた」に従って、オフタイマーを設定してください。
- ② オフタイマーの設定後に、本体の『入タイマー』ボタンまたはリモコンの『タイマー』ボタンを2回押して、オンタイマーを設定します。  
P.14「オンタイマーの設定のしかた」の①～②に従って、オンタイマーを設定してください。
- ③ 『切タイマー』ランプと『入タイマー』ランプが点灯し、ディスプレイが周囲温度表示になると設定完了となります。

#### メモ

オンタイマーの残り時間を確認したい場合は、本体の『入タイマー』ボタンまたはリモコンの『タイマー』ボタンを2回押すと点滅表示されます。



### ■ オフタイマーとオンタイマーの解除のしかた

#### ◎ オフタイマーのみ解除する場合

本体またはリモコンの『電源』ボタンを押すとオフタイマーのみ解除され、オンタイマーの設定は維持されます。

#### ◎ オンタイマーを解除する場合

P.15「オンタイマーの解除のしかた」に従って、オンタイマーを解除してください。

#### ◎ オフタイマーとオンタイマーを同時に解除する場合

- ① 本体の『切タイマー』ボタンまたはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
- ② ディスプレイの点滅中に設定時間を「0H」にあわせませす。
- ③ 『切タイマー』ランプと『入タイマー』ランプが消灯し、ディスプレイが周囲温度表示だけになると解除完了となります。

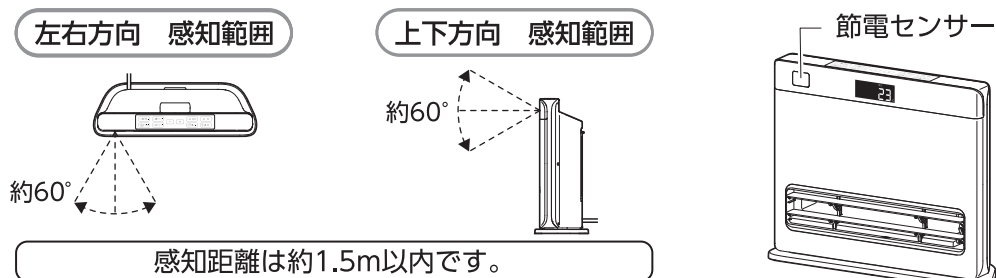


# 節電センサーモード(自動運転)

## ■ 節電センサーモードについて

運転中に節電センサーで人の動きを感知して、運転の停止と再開を切り替えます。

## ■ 節電センサーの感知範囲



## ■ 節電センサーの設置環境

- 節電センサーの特性上、次のような場所では作動しなかったり、誤作動したりする場合があります。
  - ・カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
  - ・温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
  - ・節電センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
  - ・湿度の高い場所や加湿器の近く
  - ・エアコンなどの送風を受ける場所
- 人がいても、ゆっくりとした動きや速い動き、小さい動き、じっとしているときなどには節電センサーは感知しません。
- ペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

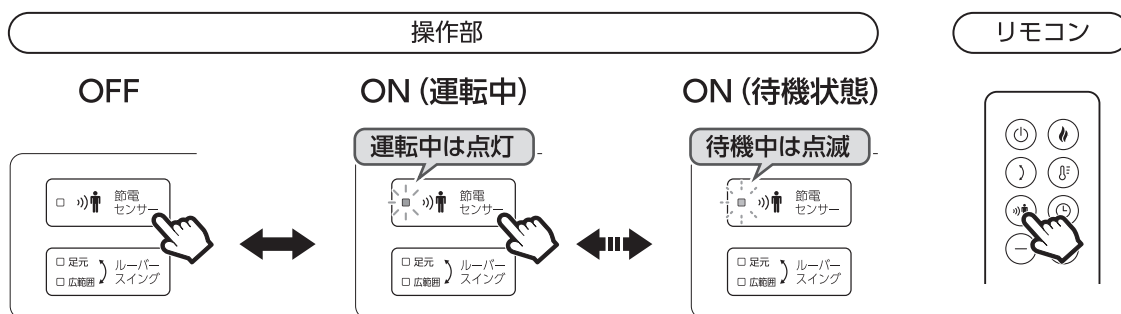
## ■ 節電センサーモードを設定する

運転中に本体またはリモコンの『節電センサー』ボタンを押します。

『節電センサー』ボタンを押すたびに節電センサーモードの「ON」と「OFF」が切り替わり、設定にあわせて『節電センサー』ランプが点灯または消灯します。

メモ

節電センサーが連続で約2分間、人を感知しないと『節電センサー』ランプが点滅して待機状態となり、約30秒間送風運転したあとルーバーが開いたまま運転を停止します。  
待機中に節電センサーが人を感知すると“ピッ”と電子音が鳴り、運転を再開します。



## お手入れと保管方法

### 警告



必ず守る

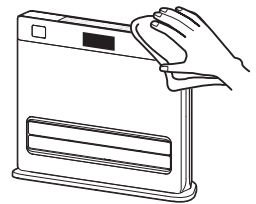
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分に冷えてからお手入れをしてください。  
感電やケガの原因になります。

各部のお手入れは2週間に1回以上行ってください。

#### ■ 本体と節電センサーのお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、十分に乾かしてください。

お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



#### ■ フィルターカバー、吸気フィルター、吸気口のお手入れ

フィルターカバーを取り外して、吸気フィルターと吸気口のお手入れをしてください。

##### フィルターカバー

- すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取り、本体と同様のお手入れをしてください。
- 取り外した状態で水洗いもできます。  
水洗いをしたあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。

##### 吸気フィルター

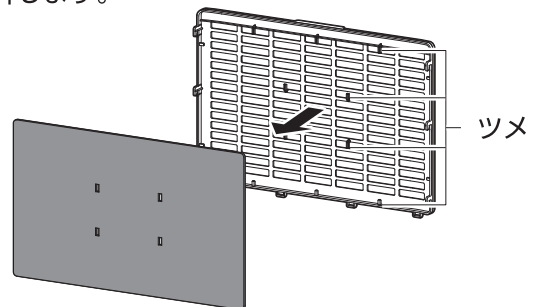
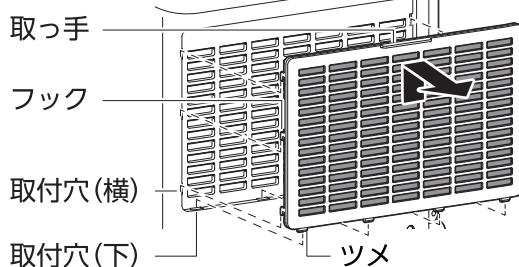
水洗いをしたあと陰干しをして十分に乾かしてください。

##### 吸気口

すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ってください。

#### ■ フィルターカバーと吸気フィルターの取り外し/取り付けかた

- ① フィルターカバーを本体から取り外します。  
取っ手に指先をかけて持ち上げてから、手前に引いてください。
- ② 吸気フィルターをフィルターカバーから取り外します。



③ 次の内容に注意して取り外しと逆の手順で取り付けます。

● 吸気フィルター

吸気フィルターの穴(4か所)と、吸気フィルターの端をフィルターカバーのツメ(上下各3か所)に引っ掛けてください。

● フィルターカバー

横側のフック(左右各3か所)を取付穴(横)にそれぞれひっかけながら下にずらし、下側のツメ(4か所)を取付穴(下)に取り付けてください。

**注意**

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。  
本体内部にホコリがたまり、モーターの過熱や故障の原因になります。

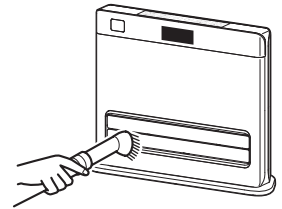
## ■ 温風吹出口のお手入れ

ルーバーのすき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

### 温風吹出口周囲の変色について

ご使用方法、ご使用状況によっては温風吹出口の周囲が変色する場合がありますが、性能や安全性に問題はありません。  
また変色や変形の原因になりますので、次のようなご使用方法はお避けください。

- 温風吹出口、吸気口、吸気フィルターにホコリが詰まった状態での使用。
- 温風吹出口、吸気口付近に障害物がある状態での使用。
- 机の下など狭く囲まれた場所での使用。



**注意**

ルーバーを手で無理に開けないでください。  
故障の原因になります。

## ■ 保管方法

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。  
湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭、故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください。

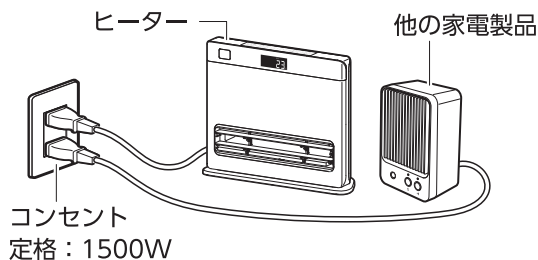
## コンセントの点検

- コンセントなどの配線器具には寿命があります。

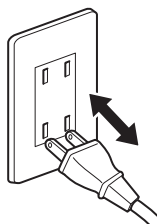
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

### 誤った使いかたの例

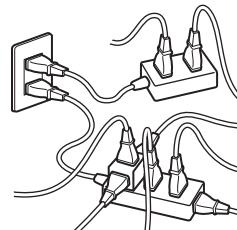
- ✕ 定格容量いっぱいで使用する



- ✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする



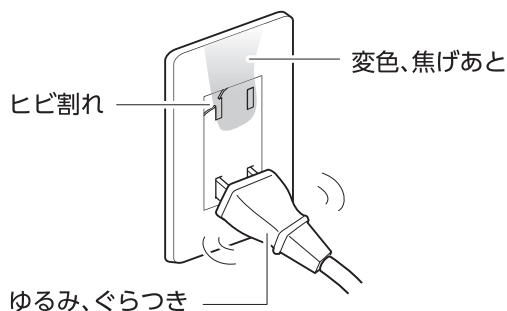
- ✕ タコ足配線する



- 下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- ・電源プラグの抜き差しがゆるい。
- ・電源プラグやコンセントが熱い。
- ・表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- ・表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



## ⚠ 注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。焼損や火災、事故の原因になります。

## 長年ご使用の製品はよく点検を行ってください。

- このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードや電源プラグが破損した。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・焦げ臭いにおいがする。
- ・その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

## 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグが外れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグをコンセントに接続してください。</li> </ul>
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体またはリモコンの『電源』ボタンを押していない。</li> <li>安定した水平な場所に置かれていない。(転倒時自動オフスイッチが働いている)</li> <li>内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体またはリモコンの『電源』ボタンを押して運転を開始してください。</li> <li>安定した平らな床面でお使いください。</li> <li>本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてから再度運転をしてください。</li> </ul>
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> <li>オフタイマーが作動して停止した。</li> <li>自動オフタイマーが作動して停止した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押して運転を開始してください。</li> <li>暖房運転時は、最後の操作から10時間後に自動停止します。(節電センサーとオフタイマーの設定中は除く)</li> </ul>
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて運転をしたため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めてご使用になる時は、においや、まれに少量の煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になくなります。</li> </ul>
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタン電池が消耗している。</li> <li>ボタン電池の向き(+/-)が間違っている。</li> <li>本体の受信部にリモコン送信部を向けていない。または本体の受信部とリモコン送信部の間に障害物がある。</li> <li>本体とリモコンとの距離が離れている。</li> <li>本体のリモコン受信部またはリモコンの送信部が汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいボタン電池に交換してください。</li> <li>ボタン電池を正しい向きに入れ直してください。</li> <li>障害物を取り除き、リモコン送信部を本体の受信部に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。</li> <li>操作距離は直線で約5mです。操作位置または本体の設置場所を変更してください。</li> <li>本体の受信部とリモコンの送信部のお手入れをしてください。</li> </ul>
節電センサーが感知しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>節電センサーが汚れている。</li> <li>節電センサーの感知範囲を超えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>節電センサーのお手入れをしてください。(定期的にお手入れをしてください。)</li> <li>節電センサー感知範囲内でお使いください。(上下60°、左右60°、感知距離1.5m以内)</li> </ul>
節電センサーモードで停止しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>節電センサーモードに設定されていない。</li> <li>節電センサーに直射日光が当たる場所や、カーテンなど風で揺れるものの近くに設置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『節電センサー』ボタンを押して節電センサーモードに切り替えてください。</li> <li>設置環境について、P.16「節電センサーモード(自動運転)」をご確認ください。</li> </ul>

症 状	考えられる原因	対処方法
運転を停止してもファンが回転する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運転を停止した直後である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運転を停止した直後は、ヒーターの内部冷却のため約30秒間送風運転を行います。</li> </ul>
ルーバーが開いたままになっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 待機状態になっている。 《待機状態の例》</li> <li>• ecoモードの設定中に周囲温度が22℃以上になった。</li> <li>• 温度設定で設定温度に達した。</li> <li>• 節電センサーモードの設定中に約2分間、人を感知しなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 故障ではありません。 モードを切り替えるか、節電センサーモードの設定中は、節電センサーに人を感知させてください。</li> </ul>

- ※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。  
 ※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。